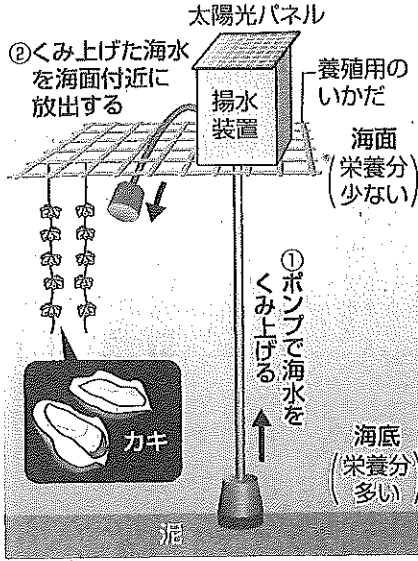


広島大が開発する海底の水のくみ上げ装置



カキ養殖に「海底水」装置

自動くみ上げ 広島大が実験

広島大の研究チームが、養殖カキの増産を目指し、栄養分の多い海底の水を海面に自動でくみ上げる装置の開発を進めている。昨年11月末からは国の支援を受け、瀬戸内海での実証実験に着手した。効果を検証し、装置の実用化を図りたい考えだ。

豊かな養分 増産目指す

広島県によると、全国最大を誇る同県の養殖カキの生産量は近年、むき身で年1万8000トン前後と横ばいが続く。生産拡大の課題として専門家が指摘するのが、瀬戸内海の「貧栄養化」だ。海水の水质改善が進んだ一方で、カキの餌となる植物プランクトンに必要なリンや窒素などの栄養分が不足しているという。

小池一彦・広島大教授（浮遊生物学）は、栄養分を多く含む海底の泥や水に

注目。深さ約20メートルの海水を、海底の泥と共にポンプで1時間あたり10トンをくみ上げる

装置を、地元の機械メーカーと開発した。装置を養殖用のいかだに設置し、揚水作業と太陽光パネルによる充電を自動的に繰り返して、カキのいる海面付近に栄養分を供給する。

文部科学省所管の科学技術振興機構から研究費約700万円の配分を受け、昨年11月末には同県東広島

3歳やけど 母が傷害疑い

神奈川県警逮捕 放置で19年に有罪

幼い長女に重いやけどを負わせたとして、神奈川県警は11日、埼玉県川口市青木、飲食店従業員橋本佳歩容疑者(26)を傷害の疑いで逮捕した。

発表などによると、橋本容疑者は2019年2月28日、3月1日頃、当時住んでいた横浜市鶴見区の自宅

で、3歳だった長女の背中などに熱湯を浴びせ、3か月の治療を必要とするやけどを負わせた疑い。「やっ

ていません」と容疑を否認している。

橋本容疑者は19年3月、

市沖の三津湾で装置計10台を使った実証実験を始め

た。

今後は天候や海水温などの条件も組み合わせて運転を自動調節できるように改良を進めるとい

「東京鯉節」(東京・晴海)のお節問屋に、大塚麻衣が弟子入りを

は2015年

「かつお節の」

なりたいんで

だが、社長の

さん(66)は

い。「女で

じゃねえ。甘

大塚さんは

後に熊本県

し、日本料理

していた。料

でだしの味を

うちに、タイ

やけどを負った長女の上半身にラップをまくなどしただけで医師の治療を受けさせず、パチンコ店に出かけるなどして放置したとして、同居の男とともに逮捕された。19年9月に保護責任者遺棄罪で懲役2年、執行猶予4年の有罪判決を言い渡されている。

5か月乳児重体 傷害容疑 父逮捕

大阪府警

大阪府泉大津市のマンシ

道頓堀川に

ニホンウナギ

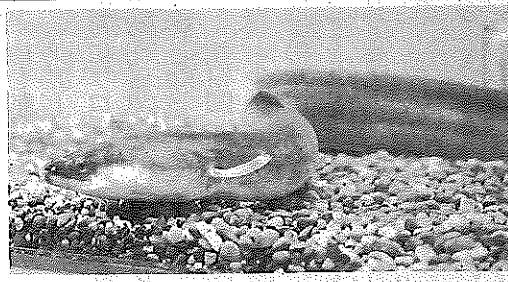
大阪府、生息初確認

大阪府立環境農林水産総合研究所は10日、大阪・ミナミの道頓堀川で、国際自然保護連合が絶滅危惧種に指定しているニホンウナギの生息を初めて確認し、11匹の捕獲に成功したと発表

した。同研究所の担当者

は「水质が改善され、戻ってきたのではないかと話

している。



道頓堀川で見つかったニホンウナギ

道頓堀川は高

明、川身非水

「東京鯉節」(東京・晴海)のお節問屋に、大塚麻衣が弟子入りを

は2015年

「かつお節の」

なりたいんで

だが、社長の

さん(66)は

い。「女で

じゃねえ。甘

大塚さんは

後に熊本県

し、日本料理

していた。料

でだしの味を

うちに、タイ

物 たのてを汁し 般

箱小

かわせ

かつお節の目利き * 2